



すずのかけ湧水 清水欠湧水

舟形町舟形



〔管理者〕伊藤清紀〔保全団体〕縄文里の会

ポイント

この湧水は、JR舟形駅にほど近い、国宝「縄文の女神」が出土した場所に整備した「西ノ前遺跡公園」の奥にある。湧水は、公園の東側にある湿地帯の奥に湧き出ている。低い水温を活かして、かつてはセリやクレソンが栽培されていたこともある。湧水の脇には地域の人々が建立した庚申塔(こうしんとう)がある。

周辺は湿地帯になっており、絶滅危惧種イバラトミヨをはじめ様々な貴重動植物がみられ、自然観察にはもってこいの場所となっている。



アクセス

(北緯38.691665°、東経140.315072°)

舟形町内、舟形町役場近く、国道13号線から県道31号線を西に西ノ前遺跡公園方面に向かう。JRのアンダーパスをくぐり、東北中央自動車道と立体交差する誘道橋手前を右折し細道を北に進むと西ノ前遺跡公園が見えてくる。公園の東側にある駐車場に車を停めて、そこから更に徒歩で湿地帯に沿って東に100mほど進む。

